

山口県大島防災センターだより

山口県大島防災センター 〒742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀5066-5 TEL0820-79-1133

第84号
令和5年11月

いざ巨大地震が起こったら、一瞬の判断が生死を分けることもあります。最初の1分は、身の安全確保が第一。慌てず冷静に行動できるように普段からシミュレーションしておきましょう。

緊急 地震速報

地震波が2点以上の地震観測点で観測され、最大震度が5弱以上または最大長周期地震動階級が3以上と予想された場合、テレビやラジオ、携帯電話などで緊急地震速報が発表されます。震源に近い地域では、強い揺れに間に

地震発生

身の安全を守る
机の下などにもぐる。

津波警報・津波注意報出たとき、避難の指示があったときは、迷わず高台に避難しましょう。

1~2分

揺れがおさまったら
火の始末をする
脱出口を確保する
家族の安全を確認する

3分

余震に注意しながら
隣近所で声をかけ助け合う
出火防止 火が出たら初期消火

5分

避難指示があった時は、急いで避難
火が天井まで移ったり、家屋倒壊
の危険がある場合もすぐ避難
避難する場合、基本的に車は使わない
(渋滞になると身動きがとれなくなる)

10分

協力して消火、救出・救護活動
隣近所と協力して消火や救出

デマに惑わされないように
ラジオなどで正しい情報を確認

数時間

協力し合って行動する
余震に注意する
壊れた家には入らない
水、食料はたくわえて
いるものでまかなう
(日頃から、3日分の飲料水
食料は備蓄しておきましょう)

3日

災害発生から3日間は、
被災地外部からの応援は
期待できない可能性が高いです。

家庭ですべき停電への備え

※内閣府のホームページなどから作成

準備しておきたいもの

懐中電灯

携帯ラジオ

スマホのモバイル充電器

予備の電池

カセットコンロ



断水への備え

3日分の飲料水

風呂に水をためておく



他にも

食

カセットコンロはガスボンベを多めに
缶詰や乾物も備蓄を



トイレ

断水で使えない恐れ。凝固剤で
排泄物を固める簡易トイレを使用

身体の保温

冬の災害用に防寒具を準備
軍手・靴下・カイロなども

情報収集

スマホはモバイルバッテリー等
があると便利。情報は周囲に伝達

来館者紹介

9・10月 見学団体

東和小学校4年生

下関市北部第二民生委員児童委員協議会

出前講座

小積地区自主防災会(小積作業所)

町内及び近隣住民の皆さん、近くまでお越しの際は、一度来館してみてください。

平常時(9時～17時)であれば、当センターは自由に入館して、展示物を見て体験することができます

なお、毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始は休館日となっています。

山口県大島防災センター

Tel(0820)79-1133 Fax(0820)72-1166 E-mail: bousai@town.suo-oshima.lg.jp

